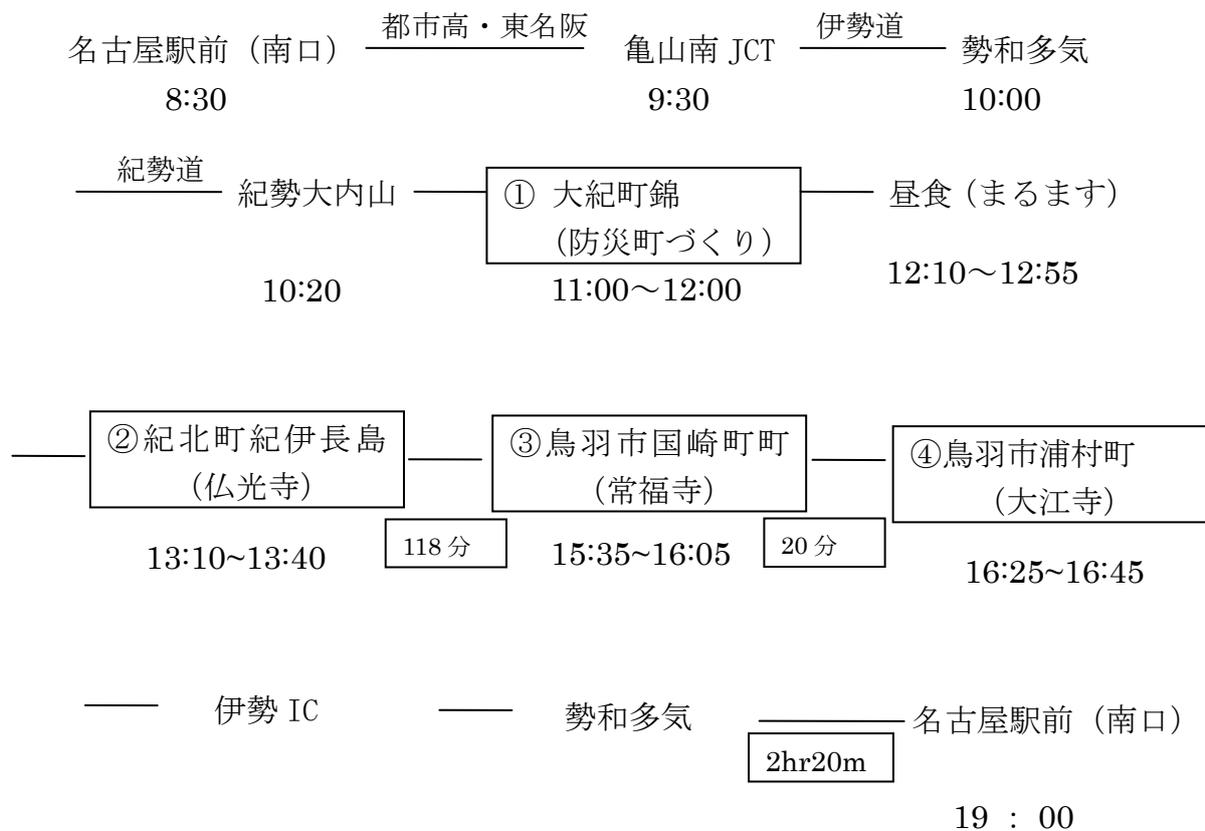


土木学会中部支部 巨大災害タスクホース現地視察
 ～歴史的大津波の爪痕と防災町づくりを訪ねて～
 (案)

1. 行程



※行きの四日市の渋滞状況次第で遅れがでる可能性あり。

1. 大紀町 錦タワー 昭和東南海津波

所在地 三重県度会郡大紀町錦



昭和東南海津波では津波高さ6.5mで、死者不明者合わせて、64人が犠牲となった。海拔4.2mの所に高さ16m、5階建ての建築物が建つ。

2. 「津波供養碑」 宝永・安政津波 町の重要文化財指定

所在地 三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区長島1226 仏光寺 tel 0597-47-0349



この寺の宝永碑文を江戸時代の著名な紀行作家 橘南鶏は「後世を救うべき、簡素で的を得た名文である」と絶賛し、『西遊記』に紹介している。当時長島浦の人口2,500人のうち500人余が流死した。

3. 「津波流失塔」 安政津波

所在地 三重県鳥羽市国崎町377 常福寺 tel 0599-33-6157



国内最古の集団移転地
津波流失塔碑には、彦間と呼ばれる近くの海岸に七丈五尺(約22.5m)の津波が押し寄せたが、犠牲者は6名のみであったと記されている。これは、明応地震のあと平野部にあった集落が常福寺共々高台の国崎に集団移転していたからといわれている。

4. 「大津波潮先棒杭」 安政津波

所在地 三重県鳥羽市浦村町今浦錦照山大江寺の前 tel 0599-32-5109



大江寺の手前道路脇に建つ石碑は、安政の大津波はこの場所まで波があがってきたことを示す。集落のほとんど全域が津波に呑まれた。